

第1章 札幌市の観光への取組

1 平成25年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【 】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：JNTO）の認定による「外国人観光案内所」（下記注）があります。

※注 カテゴリー1：何らかの方法での英語対応・地域の情報を提供

カテゴリー2：英語対応可能なスタッフが常駐・広域の案内を提供

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名称	概要
北海道さっぽろ観光案内所 (カテゴリー2)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口	所在地：中央区北1西2 北海道経済センタービル4階 札幌観光協会内 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成25年は4/26～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4・5月、9・10月） 9:00～18:00（6～8月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所在地：南区定山溪温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (カテゴリー1)	所在地：中央区北1西3札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成26年は2/5～2/11まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) **観光マップ制作【観光誘致・受入担当】**

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所等で配布しています。

(3) **観光案内板の管理【庶務係】**

来札客の利便性を図るために、191基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っています。

また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインの採用にも努めています。

(4) **都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】**

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

観光バス待機場所在地：中央区南8条西2丁目 ※平成25年10月1日より移転
〔平成24年度利用台数13,081台〕

(5) **札幌いんふお運営事業【MICE推進担当】**

スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレットPC等に対応した観光アプリケーションソフトウェア「札幌いんふお」を運営し、札幌の魅力あるタイムリーな情報を日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングルの多言語で提供しています。観光情報の他、位置情報を利用して、目的地やユーザー周辺の情報を提供するなど、国内外の観光客の札幌滞在、周遊を促進します。

○おもてなし推進事業【観光誘致・受入担当】

(1) **観光ボランティアの運営**

大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の観光案内所で観光案内を行う市民ボランティアの活動を支援しています。

登録数は163名（男68名・女95名）、平均年齢は63歳であり、活動は交代制となっています（平成25年9月現在）。

(2) **市民と協働による観光リーフレットの多言語化**

地元市民がおすすめるスポット等の情報を掲載した観光モデルコースの多言語化を実施します。

(3) **札幌おもてなし委員会**

まち全体のおもてなし向上を目的として、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して設立した「札幌おもてなし委員会」の運営を行っています。大規模コンベンション等でのおもてなしや観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信

(1) **ホームページの运营管理**

ア) **観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の运营管理【庶務係】**

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介。定番から旬のものまでバラエティに富んだ観光情報を提供しています。

す。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・ハングル版があります。

平成 25 年 10 月、全面リニューアルを行います。詳細は 14 ページのトピックスをご覧ください。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光誘致・受入担当】

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報をわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

URL <http://www.sapporo-info.com/index.php>

QRコード⇒



携帯電話用 URL <http://www.sapporo-info.com/m/>

(2) 観光メールマガジンの配信【庶務係】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や、観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、札幌の魅力が読者により伝わるよう、観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行っています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

[平成 25 年 9 月現在の配信登録数 約 2,000 件]

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【庶務係】

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(4) 観光写真ライブラリー【庶務係】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。[平成 25 年 9 月現在 約 2,000 枚保有]

観光写真ライブラリー

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

(5) Twitter（ツイッター）【庶務係】

Twitter において「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。

[平成 25 年 9 月現在のフォロワー数 約 10,100 人]

札幌市観光コンベンション部@Sapporo_tourism(Twitter アカウント)

http://twitter.com/Sapporo_tourism

(6) Facebook（フェイスブック）【庶務係】

Facebook において、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真や観光情報等の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

○藻岩山魅力アップ事業【観光魅力づくり担当】

平成 23 年 12 月 23 日にリニューアルオープンした藻岩山観光施設について、より多くの市民・観光客に楽しんでいただけるよう、各種イベントやプロモーションの充実を図っていきます。

平成 24 年度は、もいわ山麓駅と水道記念館を結ぶ散策路を整備し、平成 25 年 5 月に供用を開始しました。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

札幌の魅力を伝え、来札意欲を喚起させるため、一般消費者へのプロモーション事業や旅行会社等を対象とした説明商談会事業を実施するほか、フォトライブラリーを整備し、札幌の魅力発信の強化に取り組みます。

ア) 観光説明商談会・視察会事業

北海道石狩振興局や関係協議会などと連携のうえ、道内外の旅行会社、航空会社及び雑誌社を対象に視察会を兼ねた観光説明商談会を実施し、商品化や各種媒体への露出を促します。

イ) フォトライブラリー整備事業

札幌及び周辺の観光資源や風景を被写体としたフォトライブラリーを整備し、各種プロモーションやダウンロード可能なフリー素材として活用します。

ウ) プロモーション事業

札幌観光の魅力伝え、来札意欲を喚起させるため、時期やターゲットを絞ったプロモーションに取り組みます。

エ) さっぽろ雪めぐり回廊事業

さっぽろ雪まつりの期間中、多くの観光客や市民が往来する札幌駅前通地下歩行空間において、札幌の観光情報や創造都市としての魅力を発信する場として、さっぽろ雪めぐり回廊を実施します。

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

平成 24 年度の来札外国人宿泊者数は、平成 23 年度比で 58.6% (対平成 22 年度比 9.7%増加) の増加となり、東日本大震災以前の水準を上回り、過去最高となりました。

札幌市では、さらなる外国人観光客の増加を図るため、現地での観光プロモーションや国際旅行博覧会への出展、招請事業などにより、札幌の観光情報の提供や魅力の発信を行っています。

特にタイについては、経済成長が好調であり、平成 24 年 10 月に新千歳空港への直行便が就航するなど、さらなる誘客の拡大が期待できるため、年間を通じた集中的なプロモーションを実施しています。

ア) 現地プロモーション事業

タイ(バンコク)の商業施設において、道内自治体や民間事業者との連携により、バンコク市民向けに札幌/北海道の観光PRイベントを実施します。この中では、現地旅行会社による札幌/北海道向け旅行商品の販売も行います。

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光PRや情報提供を行うことにより、誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

25年度出展予定：TITF（タイ）、GATF（インドネシア）MATTA Fair（マレーシア）、BITE（中国）、トラベルマート2013（日本）等

ウ) 招請事業

札幌の魅力を実際に体験してメディアを通じ広く発信することや、札幌を訪問地とする旅行商品の造成を目的として、TV局、旅行雑誌等のメディアや、旅行会社等の関係者を招請します。

25年度実施予定：タイ、インドネシア、中国

エ) セミナー・商談会

タイ（バンコク）において、観光及びMICE関係者が現地旅行会社等に対してセミナー及び商談会を開催します。

また、観光庁・日本政府観光局が主催するインバウンド商談会に参加します。

オ) 現地広告事業

タイ（バンコク）で開催されるタイ旅行フェアの期間にあわせて、公共交通機関を利用した広告事業等を実施します。

カ) 観光マップ制作

海外からの観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した、外国語版「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所にて配布しています。

制作言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングル

○MICE誘致・支援事業【MICE推進担当】

MICE（マイス＝Meeting、Incentive travel、Convention、Event/Exhibition）は、高い経済効果をもたらすだけでなく、経済情勢による影響や季節による変動が小さいという特徴があります。また、世界へ向けたPR効果が高く観光目的としての再訪問を見込むことができ、受入施設のレベルアップにもつながるなど波及的な効果も大きく、集客交流産業の活性化に寄与するものです。

札幌市では、MICEを巡る都市間競争に打ち勝つため、平成22年11月に策定した「札幌MICE総合戦略」に基づき、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを生かして、MICEによるさらなる集客を目指し、各種の事業を行っています。

札幌市のMICEの推進にあたっては、公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローがワンストップサービス機能を担い、MICE開催におけるコーディネートや受入の支援、首都圏における情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用にかかる助成金制度やインセンティブツアーへのサポート制度を運用しています。

また、MICE推進に係る事業を行うにあたり、官民の連携をより強化するため、「さっぽろMICE推進委員会」を設置し、中国市場へのマーケティング強化、韓国大田マーケティング公社との連携による共同誘致やMICE見本市への出展、キーパーソンの招請など、戦略的な取組を行っています。

○PRツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、DVDとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル	DVD	初版：平成23年度 改訂：平成24年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080

インターネット上でも閲覧できます。

ようこそさっぽろ内の「CINEMATIC CITY SAPPORO」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/movies>

(2) 観光PRリーフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRリーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出しています。

○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【庶務係】

(1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査

札幌市への来札観光客の入込数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成24年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：91.4%]

イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、中国、韓国など外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成24年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：96.1%]

○札幌市観光まちづくりプランの策定【庶務係】

札幌市では、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「札幌市観光まちづくりプラン」を策定しています。

このプランは、今後10年間の観光の取組の方向性をまとめるものであり、札幌観光の現

状分析を行ったうえで、観光まちづくりを目指すための将来像や基本的な施策の方向性、優先的に実施すべき重点施策などを掲げる予定となっています。

今後、札幌市の最上位の計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」との整合性を図りながら内容を検討し、平成25年度中の策定を予定しています。

○定山溪地区の観光振興

(1) 定山溪観光客誘致関連【観光振興担当】

地域が実施するイベントやプロモーションなど来客誘致強化や受入体制の充実を目的とした事業への支援を行います。定山溪周辺エリアにおける自然体験観光の情報収集・整理、情報の発信、観光案内等の事業を行います。

(2) 定山溪観光魅力アップ構想の策定【観光魅力づくり担当】

定山溪地区の観光資源としての魅力向上を目指し、ソフト事業の充実や必要なハード整備を盛り込んだ構想策定に向けて、検討を行っています。

○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【観光振興担当】

札幌市の周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした滞在型観光の促進や道内中核都市間において道民の域内交流を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために自治体間において連携した取組を行っていきます。

(1) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊8市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については近郊市町村と密度の濃い連携のもと、互いに無いものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏をPRし、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取組として進めています。

主な事業としては、札幌近郊の観光資源を活用し、地域の創意工夫に満ちた「地域旅」を造成するためのワークショップ等の取組に対する支援や積極的な首都圏でのPR活動、圏域の景色や体験、食など様々な観光資源を紹介したブログサイトの開設などがあります。

(2) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による「道内中核都市観光連携協議会」を平成23年4月に設立しました。平成25年度は、域内交流を目的とした「道内中核都市周遊促進事業」(中核6都市の観光施設を巡るスタンプラリーの実施)をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスターの掲出及びパンフレットの配架などを行います。

(3) さっぽろ広域観光圏推進協議会

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での2泊3日以上滞在型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を設立しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成25年度は、集客促進用フリーマガジン(夏、秋、冬号)を制作し首都圏等での配布や、札幌市に宿泊した方向けの周遊促進ガイドマップを制作し圏域内周遊を促すキャンペーンを実施するなど、圏域の魅力アップと滞在促進を図っていきます。

観光圏：観光圏とは、観光庁が観光圏整備法に基づいて実施している事業です。観光圏に認定されることによって、ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例措置などのメリットがあります。

○札幌シティ・リゾートウエディングの推進【観光振興担当】

札幌市の新たな分野での観光需要拡大や札幌ブランドのイメージアップなどを目的に、札幌市及び札幌市内のウエディング関連事業者等で組織する「札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会」を通じて、ウエディングをテーマとしたプロモーションを実施していきます。

平成 25 年度は、挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港などからのフォトウエディング(結婚記念写真旅行)を誘客するための現地 P R やモニターツアーを行います。

札幌ロケーションフォト・ウエディングガイド URL

<http://sapporo-crw-photo.jp/>

札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/SapporoLocationphotoWedding.fan>

○各種まつりの連絡調整【事業調整担当】

(1) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成 26 年で 65 回を迎えます。約 250 基の雪氷像が 7 日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

(2) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和 34 年に第 1 回が開かれ平成 25 年で 55 回を迎えました。

(3) Y O S A K O I ソーラン祭り

平成 4 年に始まったこの祭りも平成 25 年で 22 回を迎え、約 200 万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントです。

(4) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成 25 年で 60 回を迎えました。イベントの中心となっているのがさっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園で 4 大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(5) さっぽろオータムフェスト

平成 20 年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成 25 年で 6 回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

(6) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 25 年で 51 回を迎えます。平成 23 年の第 49 回からは、メイン会場を同年開通した札幌駅前通地下広場に移しました。

(7) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 25 年で 33 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 40 万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(8) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌6条1丁目
電話番号	011-817-1010
開設年月	平成15年6月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階／20,309.90㎡
開館時間	午前9時から午後10時まで（休館日 12月29日から翌年1月3日）
管理運営	SORA-SCC共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式2,500人収容）、特別会議室（シアター形式700人収容） 中ホール（シアター形式600人収容）、小ホール（固定席193人収容） 会議室（15室）、野外展示場、駐車場（475台収容）
敷地面積	41,018.51㎡
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○「札幌国際ユースホステル」の運営管理【庶務係】

来札幌観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	011-825-3120
開設年月	平成12年4月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1,967.64㎡
定員／利用期間	120人／通年
管理運営	一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊3,800円（中学生以下3,300円、4歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食630円）
敷地面積	918.93㎡
(URL)	http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/

2 平成 25 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長 調整担当部長	観光企画課長	庶務係長	4 名
			事業調整担当係長	
		観光振興担当課長	観光振興担当係長	2 名
			主査（調整）	
			観光魅力づくり担当係長	1 名
			シティPR担当係長 （総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務）	
		MICE 推進担当課長	観光誘致・受入担当係長	3 名
			MICE 推進担当係長	1 名
		定山溪地区担当課長 （南区定山溪出張所長兼務）	定山溪地区担当係長 （南区定山溪出張所次長兼務）	
		1 名	2 名	4 名
合計職員数 27 名				

3 平成 25 年度予算の概要

《平成 25 年度観光コンベンション部 予算の概要》

予算総額 814,274 千円（対前年度当初予算比 6.9%の増）

観光振興費

・観光企画宣伝費	33,385 千円	事務経費
・観光案内所運営費	54,890 千円	札幌駅・定山溪・大通公園の観光案内所の運営
・観光施設運営管理費	84,692 千円	観光バス待機場移転経費・コンベンションセンター等の施設維持管理
・観光情報ポータルサイト運営費	11,943 千円	観光情報サイト「ようこそさっぽろ」運営

観光行事等助成費

・観光行事等助成費	120,542 千円	各種まつり・札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

集客交流促進費

・国内観光振興事業費	17,000 千円	集客プロモーション・観光説明商談会・視察会の実施
・国際観光促進事業費	16,900 千円	アジアを中心とした海外からの観光客誘致の実施
・観光活性化基礎調査費	5,040 千円	観光客満足度調査・外国人観光客動態調査等
・おもてなし推進事業費	13,167 千円	市民・企業・行政の協働によるおもてなしの取組
・広域連携による観光振興事業費	4,020 千円	さっぽろ広域観光圏等による周遊事業の展開
・シティリゾートウェディング推進事業費	11,000 千円	フォトウェディングの誘致等
・札幌いんふお運営費	6,000 千円	携帯端末用観光アプリのメンテナンス
・戦略的観光資源発掘・創出事業費	7,000 千円	本市観光資源の発掘・外国人ニーズ調査
・有望市場誘致強化事業費	10,000 千円	東南アジア向け見本市・セミナー等の実施
・外国人観光客受入環境整備事業費	18,600 千円	ホームページ等における外国語対応の充実

都市魅力向上費

・さっぽろ雪まつり事業費	213,102 千円	実行委員会への補助・大通会場における大雪像制作等
・さっぽろ雪まつり魅力アップ事業費	27,500 千円	雪像に映すプロジェクションマッピングの実施等
・定山溪地区魅力アップ事業費	27,909 千円	定山溪の魅力アップに向けた事業の実施等
・藻岩山魅力アップ事業費	11,725 千円	藻岩山施設の運営管理・各種イベント事業の実施等
・さっぽろホタテフェスト事業費	27,830 千円	北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催

コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	41,879 千円	コンベンションビューローの実施事業に対する補助
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・MICE 推進事業費	29,950 千円	MICE 誘致に係る事業の実施
・MICE 誘致強化事業費	10,200 千円	札幌の魅力を活用した MICE 誘致の強化

4 トピックス

○道内中核都市及びさっぽろ広域観光圏市町村との連携による取組

【観光振興担当】

札幌市では、「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考え方の下、道内市町村との連携を目指しています。観光分野においても、道内中核都市（函館市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市）、さっぽろ広域観光圏市町村（江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村）とそれぞれ協議会を設立し、旅行会社、航空会社、レンタカー会社、日本自動車連盟（J A F）など観光関連団体との連携を図りながら、様々な事業を展開しています。

道内中核都市との連携では、携帯電話やスマートフォン及びハガキを活用した道内6都市の観光スポット及びグルメスポットを巡るスタンプラリーや、北海道「食と観光」情報館イベントスペースでのポスターの掲出及びパンフレットの配架による観光PRなどの事業を実施しています。

さっぽろ広域観光圏市町村との連携では、札幌市で開催される大規模な観光イベントのさっぽろ大通ビアガーデン、さっぽろオータムフェスト、ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo と各市町村の魅力ある観光スポットなどを掲載したパンフレットを年3回発行し、道外で配布するほか、旅行会社と連携した各イベントのクーポン券付き旅行商品の造成により集客を図りながら、圏域内マップ及び観光スポット等を掲載したクーポン付きガイドブックの活用による周遊キャンペーンを実施し、札幌市や近隣市町村への周遊を促しています。また、さっぽろ広域観光圏の公式ホームページ「さっぽろ観光ナビ (<http://sapporo-kankou.jp/>)」を開設運用し、各観光関連施設等のホームページとの相互リンクも行うことによって、圏域内への旅行や観光に関心のあるユーザーに対して、観光情報を発信しています。

スタンプを集めて、温泉宿泊券などの豪華賞品を当てよう！

札幌 函館 旭川 釧路 帯広 北見

4/20・12/19

北海道6都市スタンプラリー 2013

1都市に必要なスタンプは3つ！ケータイ・ハガキで参加してね！

スタンプ	スタンプ	スタンプ
札幌	旭川	帯広
函館	釧路	北見

札幌近郊を観光すると抽選でプレゼントが当たる！

さっぽろ周遊キャンペーン 実施中！

2013年12月27日まで

対象施設でスタンプを3つ集めて応募すると500名にプレゼント！

参加方法①
「さっぽろ観光ナビ」
<http://sapporo-kankou.jp/>
にアクセスしスタンプ取得スポットを印刷して持ち帰ります。

参加方法②
「さっぽろ観光ナビ」
クーポン内台紙に
周遊スポット全34ヶ所をスタンプして応募！

クーポン券 3500円お祝い！

<http://sapporo-kankou.jp/>

○さっぽろ雪まつりの新たな魅力「プロジェクションマッピング」の実施

【事業調整担当】

第64回さっぽろ雪まつりの大通5丁目会場東側において、豊平館（※）を大雪像で再現し、夜間に、文化芸術の創造性でまちの活力と経済活性化につなげていく「創造都市さっぽろ」の取組の一環として、大雪像へのプロジェクションマッピングを世界で初めて行いました。

プロジェクションマッピングは、デジタル技術と芸術を融合した先進的なアート表現（メディアアーツ）の一つです。音楽と連動して光のアート映像を大雪像に投射し、多くの観客を楽しませましたが、余りにも多くの来場者が訪れたことにより、安全確保のため、やむを得ず最後の3日間、放映を中止といたしました。

しかしながら、さっぽろ雪まつりの新たな魅力を日本をはじめ、世界に発信することができました。

※1880年（明治13年）高級西洋ホテルとして開拓使によって建造され、1964年には国指定重要文化財となった。開拓使洋風木造建築技術の結晶であり、日本最古の純洋式木造ホテル建築。



○観光公式サイト「ようこそさっぽろ」のリニューアル

～デザイン性の向上、外国語版の充実、スマートフォン対応、機能の充実～

【庶務係】

近年、旅行出発前にインターネットで情報収集することはもちろん、旅行中はスマートフォンやタブレット端末を片手に旅をするという姿が多くみられるようになりました。

旅行に必要とする実践的・実用的な情報をインターネット等を通じて提供することは極めて重要と考え、観光公式サイト「ようこそさっぽろ」ではより情報を探しやすく、わかりやすいウェブサイトを目指して、ページデザインやサイト構成、コンテンツ内容等を全面リニューアルしました。

特に、これまでは日本語ページを中心にサイト運営を行っていましたが、リニューアル後は外国人旅行者への情報提供を強化し、日本語版同様の質・量を提供することを重視しました。また、写真を前面に、効果的に掲載することで直感的に札幌の魅力を伝えられるデザインにしました。

さらに、国内外問わず急速に普及しているスマートフォン利用者の利便性、操作性を向上させるため、スマートフォン対応とし、最適なレイアウトで表示できるようになりました。

また、機能についても新たな追加を行っています。「マイリスト機能」はお気に入りの記事を記憶することが可能で、自分オリジナルの旅のガイドブックを作成することができます。また、「レコメンド機能」は、「この記事を読んだ人は他にこんな記事も読んでいます。」のように、類似性の高い情報を自動表示し、思いがけない情報と出会える機会を提供します。

今後も更なるコンテンツの充実と機能の拡充を行っていく予定です。

観光公式サイト「ようこそさっぽろ」 <http://www.welcome.city.sapporo.jp/>

